

<p>・看取りに掛かる費用的なことをもっと聞いてみたい。</p>
<p>・自分も年齢的に看取られ、親を看取る年であり、いいお話でした。</p>
<p>・現状が手に取るようにわかりやすかったです。</p>
<p>・いろんな職種の方の看取りについての話が聞けたので勉強になりました。</p>
<p>・両親が他界した時の私の対応を省みると、親に申し訳なかったと思います。</p>
<p>・在宅でも訪問診療や訪問看護をお願いすることで、いろいろな医療機器を使ったり、いつでも電話で相談したりできることを知り、自分の両親もいざという時にはお願いしたいと思いました。</p>
<p>・自分の終活の問題として、これから真剣に家族で話し合っていかなければならない問題だと強く感じた講演であった。本当にありがとうございました。</p>
<p>・寒い。資料とスクリーンと合わず、話し方が早すぎてスクリーンと同じ資料が欲しいと思った。</p>
<p>・一度、祖父母から「もしもの時、家で介護をしてくれるか？」との話があったばかりなので、とても考えさせられる内容でした。家族で話し合いをすることがとても大事なことだと思いました。</p>
<p>・今日の講話を聞き、心に余裕ができました。普段から感じていることではありますが、大濱先生の優しい声で話されると、新鮮な気持ちで聞くことができ大変良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>・とても素晴らしい機会でした。ありがとうございました。</p>
<p>・介護の仕事をしていますが、自宅や暮らしてきた地域で最期を迎えたいという本人や家族の思いを大切に、その援助ができるよう勉強していこうと思いました。</p>
<p>・各専門の先生やパネリストの方々の話はとても参考になりました。ありがとうございます。</p>
<p>・ビデオやDVDにして、市役所内で上映会を行うなど、多くの方に聞いて欲しい。</p>
<p>・大変良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>・看取りについて、最期はほとんど病院でというイメージだったが、これからは昔のように自分の家で家族に見守られてが理想。看取りとはということを深く考えさせられました。</p>
<p>・自分が幼い時に自宅で大きいおじいさんが亡くなった時のことを思い出しました。</p>
<p>・私自身もやはり最期は自宅ですと思っています。父が二十数年前に病気で亡くなりました。その際も、最期は自宅ですと母とも話していました。主治医も訪問しますと云っていましたが、結局それもなくて病院で亡くなりました。母にとっても自宅での介護が大変だったろうし、仕方なかったのかなと思います。その当時はまだ介護の連携等なく、自宅介護は無理だったのかもしれませんが。今後、ちゃんと連携が取れ、自宅での看取りができれば素晴らしいと思います。</p>
<p>・家族のみんなに看取られた方が最高の幸せだと思いました。</p>

<p>・まだ私自身、看取りの経験がありません。私達年代はそろそろ介護する年代にもなったため、今回のテーマは現実感を感じることができました。</p>
<p>・二人(夫・義兄)を送った今、今日知った看取りのあり方を知り、もっとやるべきことがいっぱいあったのにと自責にかられましたが、現在姉の介護を手伝っているので参考にしていきたいです。</p>
<p>・私はお婆、父、母の看取りを在宅で経験しました。</p>
<p>・いろいろ考えさせられる時間となりました。これからの介護にあたって勉強になりました。</p>
<p>・病院から在宅への医療・療養が移行していく中で、本人・家族の意向に添った最期を迎えられるようにしていくことの必要性を知ることができました。グリーンケアや在宅での看取りをどのように行っているのか、具体的にもっと知りたいと思いました。</p>
<p>・現場の症例を今日のように具体的に、継続して報告していただけると幸いです。</p>
<p>・各々の専門職、施設、ご家族の経験を聞けたのは良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>・一番聞きたくない話ではあるが、人生の終は誰にも来るので、改めて終活の必要性を感じる貴重なセミナーでした。どうもありがとうございました。</p>
<p>・多職種の方々その立場で看取りを詳細に報告を行い、お互い顔の見える連携が大変大事と思いました。その上、その人に寄り添って、その人らしく最期を迎え、納得いく死を迎えることがよく分かりました。連携の重要性理解できました。</p>
<p>・人間は意識あつての人間である。延命処置をするべきではないのではないか。</p>
<p>・自分の家族が最期を迎える時、できるだけ本人の意向を尊重し、サービスを利用したいと思った。</p>
<p>・各専門分野の方のお話が聞けて、とても普段聞けないお話でしたので大変有益でした。また、大瀧先生の診療費のお話も具体的でとてもありがたかったです。救急車も簡単にお願ひしてはいけないと良くわかりました。</p>
<p>・看取りについての具体的なケアの内容を知りたい。</p>
<p>・お話をしながら泣いている医師に初めて出会いました。先生に会えた患者は本当に幸せだったと思います。母(91才)車椅子、認知症のため、会話もできず、最近では寝ている時間も長くなり、グループホームで生活していますが、家族として何ができるかと思い今日参加しました。会話ができないので、いつも手を握っています。「手と手」本当に良かった。先生のご活躍お祈りしています。また母の所へ行ったら「ありがとう」を言いたいです。</p>
<p>・看取りについて、理想と現実では難しい課題があるのかもしれませんが、自分の家族らしい看取りはどうすればいいのか考えるきっかけが少しはできたと思います。ありがとうございます。</p>
<p>・とても素晴らしい発表ばかりで感動しました。</p>
<p>・現在、看取りが認められている施設は特養しかないと聞いていましたが、小規模多機能でもできるとは知りませんでした。</p>

<p>・大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
<p>・私の祖母(母方)は、「自宅で最期を迎えたい」と話し、最期は自宅でした。嫁が別に住んでいて(実の子・長男はすでに他界)、娘である私の母は病弱で、私が仕事を終え祖母宅へ。日中ひとりで過ごすことが多かった祖母。息を引き取るまで添い寝していた場面を、この頃よく思い出します。実母もそのような最期を願い、私も自宅での思いはありますが、共働きの厳しさがあり、思うように両親のこともできずにいます。</p>
<p>・本日参加して、医療・介護のスタッフの方々がしっかり相談にのっていただけると、心強く思いました。</p>
<p>・93才の義母はデイケアにお世話になっています。家族がどう看取るか、どのタイミングでDNARについて話しをすればよいか、現在迷っているところです。具体的情報が欲しいです。</p>
<p>・現在は人の死に直面することがほとんど無いので、不安が大きいです。これから実家の母の介護を自宅で看ることになっているが、兄弟と力を合わせて頑張りたい。</p>
<p>・市民向けの講座として内容はとても良かったと思います。看取りを経験した家族からの報告(比嘉美枝子さん)がとても良かったです。つるかめ訪問看護ステーションの報告も、家族に寄り添う支援でとても良かったと思います。</p>
<p>・病院ではなく、在宅や施設などで最期を迎えられることの意味を理解できました。</p>
<p>・素晴らしい企画・講演だと思いました。在宅での看取りは、医療・介護従事者の意識を高め、人材育成することの視点も大切ですが、市民の理解を広めることもまた大切だと思います。今回の講座は、市民へ看取りの教育の場を提供し、休日に設けたことで、多くの方が参加されたことは、「うらっしー」のスタッフの努力のおかげだと思います。</p>
<p>・とてもあたたかい気持ちになりました。看取るということは、人間らしい、その人らしい最期を迎えることを支えることと認識しました。</p>
<p>・とても良いお話を聞かせていただきました。脳梗塞の父の看取りについて、家族でもっと深く話し合っていこうと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>・実際のケースの説明があり、とてもわかりやすかった。</p>
<p>・自宅で看取ることができたら、心おきなく側にいて介護してあげられていたらいいと思う。父は施設 → 病院へ そこで亡くなりました。生活があると思っても、現実には難しいとつくづく思います。</p>
<p>・将来、自宅介護へと進むことで勉強が必要と感じている。</p>
<p>・大瀨先生と同様に、私達も老健で施設長と一生懸命に実践してます。</p>
<p>・医療制度の充実も必要ですが、人々(市民)の心が看取りを望む、安心して望める心構えがもっと必要だと考えます。</p>
<p>・施設で看取りの取り組みをしていく上で、いろんな視点からのお話が聞けて良かった。参考になりました。ありがとうございました。</p>
<p>・命について、再度考えさせられました。その人らしい生き方、看取りの実践ができたらと思います。</p>

<p>・有意義でした。</p>
<p>・すごくいい学びができた。感謝です。</p>
<p>・在宅看取りには、それを支える家族の数が必要だな～と感じた。</p>
<p>・大濱先生が深く患者さん、家族と関わり、関係づくりされていたことに感銘を受けました。</p>
<p>・救急救命士さんから、ホームで暮らす身内のDNARについてもよく考える機会をいただきました。ありがとうございました。</p>
<p>・看取りを行うにあたっての、いくつかのポイントが学べて良かった。看取りをしていくにあたって、周りの方に色々相談していくことが大切と思った。</p>
<p>・身近な人の生死について考え直すことができた。</p>
<p>・今回、参加でき大変勉強になりました。専門職の方が非常に勉強し、看取りについて向き合っていることに新しい時代を感じます。これからも在宅での看取りが当たり前になるような社会になることを望みます。</p>
<p>・施設に母が入所しているので参考になった。</p>
<p>・住み慣れた自宅で治療やケアをしてもらい、ゆっくり家族と過ごせる時間は、本人・家族にとってもよいものになると思う。大濱先生が大好きになりました。</p>
<p>・費用面も、看取りのあり方もいろいろあることを知ることができて良かったです。浦添の医師会「うらっし～」が積極的に進めていくことはとても助かります。</p>